

令和6年度 英語学習実施状況について

金沢市立泉小学校

①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和7年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	31.0	36.0	28.0	5.0	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	79.0	20.0	1.0	0.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に 役立っている。	37.0	49.0	10.0	4.0	0.0
問4	英語の授業の内容が分かる。	65.0	25.0	9.0	1.0	0.0
問5	先生や友達に英語で質問することができる。	38.0	45.0	13.0	4.0	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えるこ とができる。	31.0	49.0	16.0	4.0	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	91.0	9.0	0.0	0.0	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	91.0	7.0	1.0	0.0	1.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語 や英文を書き写すことができる。	84.0	15.0	1.0	0.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	63.0	30.0	4.0	3.0	0.0

②指導改善の具体策

「英語の授業の内容が分かる」や「教科書の単語や英文を読むことができる」という質問に対して、肯定的な回答をした児童が9割以上いることから、インプット内容の理解度は高いと言える。一方、「先生や友達に英語で質問することができる」や「先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる」というアウトプットに関する質問に対して「そう思う」と答える児童は3～4割程度と少ない。そのため、やりとりや発表などの機会をさらに増やしたい。短いフレーズからペアでやりとりしたり、少人数のグループ内で発表したり、スモールステップで学習を進めたい。ALTや他校の児童と英語でコミュニケーションがとれたという成功体験を積み、児童が自信をもてるようにしていきたい。

③学校関係者評価

- ・従来の読み書きだけではなく、会話などコミュニケーションを重視した金沢市の小学校英語教育をこれからも続けてほしい。子どもたちの将来に役立つと思う。
- ・小さい頃から外国に興味をもつことが大切。泉小学校には、外国籍の児童も在籍しており、日本語指導教室もあるので、異文化にふれる機会を大切にしたい。
- ・ICTやアプリなど、英語を学ぶツールとして便利なものがたくさんある時代なので、それらを活用してネイティブの発音を聴く機会を増やすとよい。

令和6年度 英語学習実施状況について

金沢市立〇〇小学校

学校名を記入

①小学6年生 英語学習についてアンケート（令和7年1月実施）

（%）

①問1～10には「小学6年生 英語学習についてのアンケート（令和7年1月実施）」より抜粋した項目が記載されているので、各学校のアンケート結果を記入し、作成する。 ※アンケート結果は、令和7年2月19日付けで各学校へC4th文書連絡で送付済み						
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	26.7	61.0	9.5	2.9	0.0
問4	英語の授業の内容がわかる。	30.5	54.3	12.4	1.9	1.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	21.0	43.8	20.0	4.8	10.5
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	20.0	45.7	17.1	6.7	10.5
問7	アルファベットの大文字が書ける。	79.0	6.7	1.0	2.9	10.5
問8	アルファベットの小文字が書ける。	74.3	8.6	3.8	2.9	10.5
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	44.8	27.6	12.4	4.8	10.5
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	21.0	33.3	22.9	11.4	11.4

②指導改善の具体策

- ・外国の方との交流設定が計画的にできなかったので、児童が学んだ英語表現の活用場面をさらに広げられるようなタイミングで外国の方との交流設定を行っていく。
- ・意識調査よりS Tの復習時間を単調に感じる児童の様子が見られるので、興味を持って学習できるように計画・実施・改善していく。

③学校関係者評価

学校関係者・・・学校運営協議会委員（当該学校の職員を除く）

評価の例）

- ・英語の勉強が好きな児童の割合は高いが、英語で質問したり、答えたりすることの肯定的な回答の割合はやや低い。児童が英語を話すことに自信が持てるように、外国の方との交流を増やすとよい。
- ・アルファベットを書くことができると感じている児童の割合が高い。ショートタイムの時間にアルファベットを使った活動を取り入れていくとよい。